

皆さんお元気ですか。先日は久しぶりに皆さんに会えてうれしい気持ちになりました。

家庭学習、提出してくれたものを見せてもらいました。頑張って取り組んでくれてありがとうございます。15日に回収したものは、主に昨年度の復習の内容でした。取り組みやすかったのではないかと思います。しかし、人間だれしも‘うっかり’はあります。うっかり、見過ごした問題ページなどはピンクの付箋(ふせん)をつけておきましたので、もう一度取り組んで、再提出してくださいね。(提出点が大きく違ってきます!)

さて、では今回の学習プリントの解き方のヒントをお伝えします。答えがついていないプリントですが、どの学年の人も、教科書や辞書を使って、頑張って答えを書き込んでください。**あなたの考えを書くところがたくさんあります。書いた方がお・ト・ク！頑張って！**

◇◇
1年生◇◇◇

教科書 P26～「花曇りの向こう」

課題① まずは音読して、どんな話かを知ろう。(おばあちゃんの関西弁は、きっとみんな、先生より上手に読めますね!)



課題② A 漢字の読み方は教科書本文の下の欄に書いてありますよ。
B 言葉の意味は、辞書を使って調べ、書いておきましょう。



課題③ 場面一～四是、本文の一行空いているところで切り替わっています。一応、書いておきますね。

場面一 教科書P26 「『なんや、また…』」

場面二 // P27 「『おはよ。』と…」

場面三 // P28 「『こっちこっち、…』」

場面四 // P29 「『いいねえ、』子供は。…」



課題④ 明生の気持ちは、それぞれの段落で少なくとも一回ずつは表されています。表の上には「言動」を書き抜きましょう(言動というのは、話している言葉や行動のことです)。下の段の「その言動から読み取れる気持ち」は、本文中の「僕が思ったこと」(←結構たくさん書いてありますよね!)を参考に考えて、自分の言葉で書くといいですね。



課題⑤ 「話の構成」「登場人物の魅力」「題名」「表現」について、問い合わせ解くことで考えましょう。自分が考えたことを必ず書いて残しておきましょう。(文で書けるのが一番いいのですが、文で書くのが難しければ、文になってしまってもかまいません。)



課題⑥ 「この作品の魅力」＝「この作品のいいなと思ったところ」です。

教科書P32 「枕草子」

- 課題①** 「枕草子」について□□に当てはまる言葉は、P33の作者の画像の下にすべて書いてあります。探して書きましょう！



- 課題②** 四季のイメージ＝「春（夏・秋・冬）といえば○○○」 あなたの考えだから、「正解」はありません。あなたの思うイメージを書きましょう。



- 課題③ 現代仮名遣いに直すのは、もうばっちりですよね？不安がある人は、便覧P42を見るといいですね。（ちなみに答えは、教科書にカタカナで読み仮名として書いてあります。）



- #### 課題④ 教科書本文の「枕草子」を壇に出して読みましょう

(現代仮名遣いの読み方は課題③でマスターしたから大丈夫かな。)



- 課題⑤ 教科書P32・33の下段の現代語訳の中から探ししましょう。便覧P44・45に古語の意味を書いたページがあるので、そちらで確認して下さい。



- 課題⑥ 「補うことのできる一字」とは、「～が」「～は」「～を」「～の」「～も」などの一字のことです。現代語訳が次に立ちます。



- ↓
問題⑦ 現代語訳に全部書いてあります。一つかい詰めればすぐできますよ!



- 課題⑧** 季節どうしで共通点・相違点を取り上げるといいですよ

考え方：「春にも夏にも、○○のことは書かれているなあ」→共通点（おなじこと）
「夏にだけ、△△のことが書かれているなあ」→相違点（ちがうこと）



- 課題⑨ 課題②で取りあげた「春といえば〇〇」を、文章にしてみましょう。
文章にする方法→その後に、なぜ「〇〇」がいいのか、どんなところがいいのか、
などを書くと文章になります。

教科書 P 39 「熟語の主な構成を理解しよう」

課題①～④の〔 〕の中は辞書を使って自分で調べた二字～四字の熟語を書きましょう。自分で熟語を調べるには、まず辞書を開いて、目についた漢字二字～四字の熟語がどれに当てはまるかを考えるといいですよ。

書写の教科書P34・35「行書の書き方を学ぼう」→□の中の答えは教科書にあります。

教科書P32 「学びて時にこれを習ふ —「論語」から」

課題① 「論語」について□□□に当てはまる言葉は、P32の本文中にすべて書いてあります。探して書きましょう！

↓

課題② 音読するときには、歴史的仮名遣いは現代仮名遣いに直して読みましょう。
例：「曰はく」→「いわく」 「習ふ」→「ならう」

1

課題③ 現代語訳するための「教科書の脚注」は、教科書の下段に書いてあります。

1

課題④

- (I) A 学んだ時にしっかり復習して自分のものにすることは、人生の喜びだ。
B 友が遠くから来てくれることは楽しいことだ。
C 世の中の人に認められなくても不平不満を言わないことが理想的な人間だ。

これらABCは、なぜこの順番で出てくるのだろう。

例えば… 自分なら、「君子」＝「徳の高い、理想的な人格者」になるためには、何がどの順番で必要だと考えるだろうか。』 …とイメージしてみるのはどうでしょう。(う~ん、難しいね…。)



(II) ポイントは「新しきを知れば」があることですね。

昔のことから今の自分たちにつながる新しいことを発見する、
ということがきっと大事なのですね。

(Ⅲ) 課題③で考えた現代語訳から、「学ぶ」ってどんなことを言っているのか、また、「思う」ってどういうことを言っているのか、考えてみましょう。

(IV) 「知る者」は「何かについて詳しく知っている人」、「好む者」は「それを好きな人」、「樂しむ者」は「それを楽しんでいる人」ですね。

日本のことわざの「好きこそものとの上手なれ」に少し似ていますね。

1

課題⑤ 四つのうちから、あなたが「ほ~、ためになるなあ！」「それはなかなかいいことを言っているなあ！」と思った章句を選び、どんなことを教えてくれたのかを自分の言葉で書きましょう。

教科書 P 4 1 「熟語の読み方」

音読み…耳で聞いたときに、他の漢字も思い浮かぶもの。例：「サン」…三・産・酸・算

訓読み… // 、何のことを言っているのかすぐにわかるもの 例：「やま」…山